青村連

栃木県二宮町を訪問 地元青年と交友深める

かねて栃木県二宮町と交友を深めていた横越村連合青年団は、二月九日から二泊三日の日程で二宮町を訪問し、地元青年と交歓研修会を行った。

連青一行二十四名と田中公民館長は、九日午後二時、二宮町に到着、新装なった公民館で荒木助役、館野町議会議長、坂本教育長、枝青年団長をはじめ、地元青年らに迎えられ、受け入れ式が行われた。

同日の夜は、二地区に分れて地元青年と交歓会。

翌十日午前中は、苺の最盛期であったため苺のとり入れの手伝いや、養豚、乳牛の飼育手伝いなど民宿先で農業実習を行った。

午後、公民館で青年団活動や農業問題などについて分散会がもたれた。夜は大正大学山村健教授を迎えて〝現代社会と私たちの心構え〟と題した講演を聴いた。

十一日、小嶋町長らの出席によってお別れの会が行われた。

今回の交歓研修会は、学習日程がギッシリと組まれたものであったが、両町村青年の交友が更に前進することを再確認し、再会を誓い帰宅の途についた。

両町村青年団長のかたい握手で友情を誓う

村体育協会結成の気運高まる

横越村のスポーツ振興をはかりたいと、このほど村内の各種スポーツ団体が集まり、村体育協会結成の準備を進めている。

本村のスポーツ活動は、最近めざましい活動を続けている。

横越野球クラブの高松宮賜杯軟式野球県大会で準優勝、第四回全日本青少年銃剣道大会で全国優勝、横越中女子バスケットが県優勝、千葉国体高校バスケットに本村から四名が出場、主力選手として大活躍をし、準優勝、青年団でも、剣道、バスケットが県大会で三位に入るなど活躍している。

また、本村においては、銃剣道連盟、柔道剣道連盟をはじめバスケットボール、野球（四クラブ）民謡、ボーリング（二クラブ）など、スポーツ団体がぞくぞく誕生され、近く、スキークラブなどの発足が予定されている。

これらのことから、各スポーツ団体の間で体育協会結成の動きが高まってき、三月中には体育協会の結成大会を開き、村社会体育行政や、各スポーツ団体との連絡調整、スポーツ人口増加など、地域スポーツ活動をより活発なものにしたいとはりきっている。

村の人口

49.1末	人口	8,047人
	男	3,936人
	女	4,111人
49.1末	世帯	1,720世帯
	生	8人
	亡	5人
	入	34人
	出	11人
	死	
	転出	
	転入	

ひろば

一考を要す 朝夕の挨拶

木津山　田　正　三

最近一般に村民間や部落民同志の朝夕等の挨拶状態が悪くなっているように思われ、チョッピリ淋しく思う。大正生れの郷愁と笑われるかも知れない。（という私も無愛想者で冗談にも、人様のことを非難する資格がない。）

挨拶状態が悪くなった原因は、次のようなことではあるまいか。

1. 車やバイクが普及し、挨拶がしにくくなり、しても効果が低い。これに便乗して挨拶を省く者も多くなった。
2. 悪い意味ではないマイホーム主義や個人主義がかなり滲透し、直接自分に関係のないものには無関心になった。
3. 社会情勢や生活様式の変化により、見知らぬ他部落や他の市町村民が自分の部落に多数出入りするようになった。

しかし村民個々の友人間や職場での挨拶や交際には従来以上に気をつかっていると思う。

内に誠がありながら、強い礼節を外に出そうとしない仏頂面型。

内に敬愛や親近感はほとんどないのに、外面は至極腰の低い慇懃（いんぎん）型。

尊敬や親近感の湧かぬ者まで、強いて挨拶する必要はあるまいとアッサリ割り切っている現代型もあろう。みなさんは、この挨拶について如何お考えでしょうか。

職業別電話帳 3月1日発行

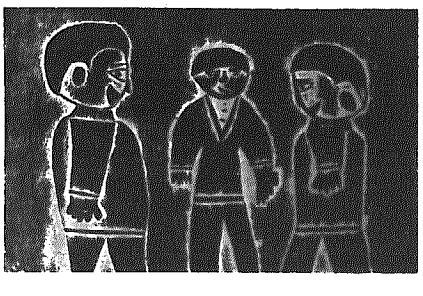
営業用加入者が掲載されている新潟佐渡版職業別電話帳が3月1日に発行されました。

紙資源の不足により紙の節約が国民的課題として問題になっています。電話帳も紙の節約で、発行部数が制限され配布対象者は営業用加入者のみでいたしますので、ご理解ご協力をお願いします。

なお、一般住宅用加入者で特に必要な方は電話局へご相談ください。

（亀田電報電話局）

こどもサロン



（木津小学校二年　仲村義雄君）

友だち三人でテレビの話しをしている所を紙版画で表現させました。

画用紙に古いハガキをはりつけて作ったものです。

人物をかかせると、前向きの絵をかく児童が多いので、表現の幅を広げるために「横向きの人」もかかせてみました。楽しそうに話し合っているようすがよく表現されています。

（木津小　島田マサエ先生）

＜評＞

平和の二文字を書きました。次の五点について特に意を用いて書くことにしました

平の文字では「二」「一」和の文字では「ノ」「オ」「口」です。

全体として、よく注意して書いたと思う。平の文字が私としては、よかったと思う。

（沢海小　志田　春雄先生）

※ひなまつり※ 子どもクイズ

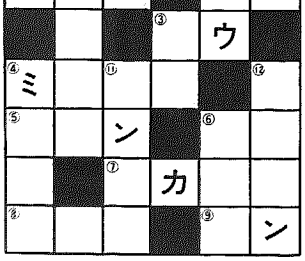
★次のクロスワードクイズを解いて、答えを送ってください。

★正解者10名の方に記念品をさしあげます。★★

○〆切り　昭和四十九年三月二十日

○送り先　横越村公民館　ひなまつり子どもクイズ係

○応募資格　村内の小中学生



〔ヒント〕

ヨコ

①カカオの種子からとった飲料。

②馬によく似た動物で小形で耳が長い。

③かぐらを―。

④店頭。

⑤とり肉のいためご飯―ライス。

⑥―雌（めす）

⑦有望な新人を発見して勧誘すること。

⑧甘味料。

⑨英語で「10」のことを何という。

タテ

②ねぎらう。

③現在、燃料はプロパンガスや灯油であるが、もとは―。

④学校の帰りなど寄り道して時間をついやすこと。

⑤囲碁王将を攻める手。

⑥手がら。

⑪小学校の教科の一つ。

⑫マラソンで有名なアメリカの都市。

15日に新婚学級

〝生まれくる子どものしあわせのために〟親はどのような心構えが必要であろうか。

今年度後期の新婚学級を開催いたします。

学級参加対象者は、昨年八月から今年三月までに結婚されたものと、この春結婚を予定しているもので、夫婦もしくは、婚約されたもの同志の参加を多数希望いたします。

期日　三月十五日　午後七時から

会場　横越村公民館

講師　県医務課参事　梶島史子先生

おわび

前月号三頁に「マレーシアの首都シンガポール」と記載しておりましたが、マレーシアの首都はクアラルンプールです。

またシンガポールは、一九六五年マレーシア連邦から人種的、経済的対立から離脱し独立の共和国となりました。

（首都名も同じ）